

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-36617

(P2011-36617A)

(43) 公開日 平成23年2月24日 (2011.2.24)

(51) Int.Cl.

A 6 1 B 5/0245 (2006.01)

F 1

A 6 1 B 5/02 3 2 0 B

テーマコード (参考)

4 C 0 1 7

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2009-202043 (P2009-202043)

(22) 出願日 平成21年8月11日 (2009.8.11)

(71) 出願人 500082045

有限会社寿商店

愛知県名古屋市中川区水里三丁目306—2

(72) 発明者 高山 智寛

名古屋市中川区豊成町1番5-525号

Fターム (参考) 4C017 AA02 AA10 AB02 CC10

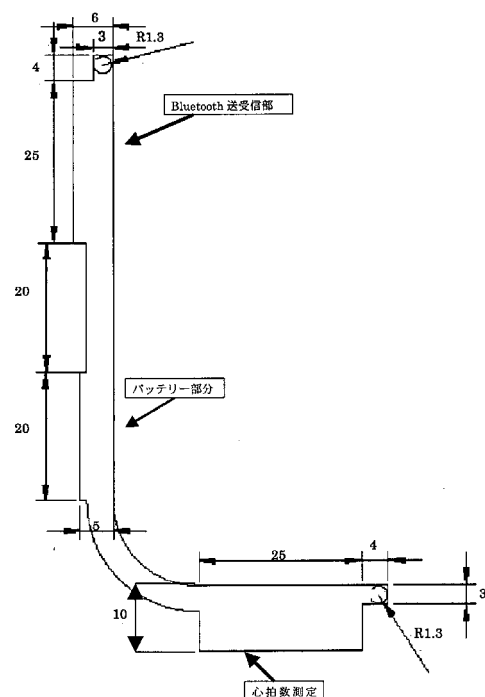
(54) 【発明の名称】 プレスレット型通信装置付脈拍センサー

(57) 【要約】

【課題】長時間手首に装着するには違和感がある大きくて重い脈拍センサーでは、長時間確実なデータを取り続けることが困難である。

【解決手段】軽量でスリムなプレスレット型通信装置付脈拍センサーを用いることで、長時間装着に違和感が少なくなり、確実な脈拍データを長時間得ることができるようになる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブレスレット型通信装置付脈拍センサー

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、脈拍検出器に関するものであり、ブレスレット型にして手首付近に装着し、データ通信機能を付与することによって、容易にコンピューター処理できるようにしたものである。

【背景技術】

10

【0002】

脈拍センサーとしては、腕時計型（通信装置付）が存在する。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

従来技術である腕時計型通信装置付脈拍センサーは、一般男性用腕時計程度の大きさと 45 グラムの重量あり、長時間手首に装着すると違和感が発生し、一般生活においても不具合が生じることがあり、実用性に問題があった。

【課題を解決するための手段】

【0004】

20

この課題を解決するための請求項 1 の発明は、通信装置付脈拍センサーを、ブレスレット型にしたことを特徴とする。

また、機能を脈拍検出だけに絞り込むことで重量を 25 グラムまで軽量化し、長時間手首に装着していても、軽量でスリムなので違和感が少なく、確実なデータを確保送信し続けることができる。

【発明の効果】

【0005】

本発明により、脈拍センサーを違和感により手首から外してしまうことが少なくなり、長時間のモニターがブレスレット型通信装置付脈拍センサーにより可能となる。

【図面の簡単な説明】

30

【0006】

【図 1】ブレスレット型通信装置付脈拍センサーが概略図

【発明を実施するための形態】

【0007】

図 1 で示す通り、スリムな形状である。

【産業上の利用可能性】

【0008】

医療健康産業分野のみならず、独居老人等の健康管理モニターにも利用可能である。

【図 1】

